

# 都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



## 【目次】

・まちづくり交付金情報交流協議会 (全国秋季会議・松山) の開催	P 1 ~ 2
・平成19年度調査研究報告会及び意見交換会開催	P 3
・『MIPIM ASIA 2007 日本ブースを出展』 (MIPIM: 不動産プロフェッショナル国際マーケット会議)	P 4
・機構の活動状況	P 5
・会員紹介 三井不動産株式会社	P 6

## 《ハイライト》

- ・まちづくり交付金情報交流協議会 (全国秋季会議・松山) の開催
- ・平成19年度調査研究報告会及び意見交換会開催

## § まちづくり交付金情報交流協議会 (全国秋季会議・松山) の開催

まちづくり交付金事業を活用して、地域の創意工夫を活かしたまちづくりの推進を目指す地方公共団体が集う「まちづくり交付金情報交流協議会 (全国秋季会議・松山)」が、関係各団体のご協力のもと松山市内で開催されました。また、全国秋季会議の開催に先立って、国土交通省及び四国地方整備局主催の「まちづくりシンポジウム」が開催されました。

### 1. 講演会 (まちづくり交付金情報交流協議会主催)

- 開催日時：平成19年11月14日(水)午後3時45分～5時30分
- 場 所：松山市伊予鉄高島屋9階「ローズホール」
- 参 加 者：約180名

- ①「まちづくり交付金事後評価に関する実践研修 (演習)」  
講師；国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課都市総合事業推進室 課長補佐 西嶋祐一氏
- ②「四国におけるまち交を活用した特色あるまちづくりの紹介」  
講師；国土交通省四国地方整備局建政部 都市・住宅整備課長 中村孝氏
- ③「第2回まち交大賞受賞地区の事例紹介」
  - i) 大分県別府市鉄輪温泉地区  
講師；大分県別府市建設部参事 糸永好弘氏
  - ii) 長野県長野市善光寺表参道地区  
講師；長野県長野市都市整備部次長兼まちづくり推進課長 丸山文昭氏



主催者挨拶  
松山市 松本啓治担当部長



会場内の様子



国土交通省 西嶋祐一氏



別府市 糸永好弘氏



長野市 丸山文昭氏

2. まちづくり現場視察研修（まちづくり交付金情報交流協議会主催）

- 開催日時：平成19年11月15日（木）午前9時30分～12時
- 行 程：坂の上の雲ミュージアム周辺地区、道後温泉周辺地区等
- 参加者：約120名



松山市（ロープウェイ通り）



松山市（道後温泉本館周辺）

3. まちづくりシンポジウム（国土交通省及び四国地方整備局主催）

- 開催日時：平成19年11月14日（水）午後1時00分～3時30分
- 会 場：松山市伊予鉄高島屋9階ローズホール
- 参加者：約180名



主催者挨拶  
国土交通省 岩城 豊氏



まちづくりシンポジウムの様子

- 基調講演 「地域の個性を活かしたまちづくり」  
近藤 光男 氏（徳島大学大学院教授）

○パネルディスカッション

- コーディネーター 近藤 光男 氏（徳島大学大学院教授）
- パネリスト 中村 時広 氏（松山市長）
- 中越 武義 氏（梶原町長）
- 多田 善昭 氏（多田善昭建築設計事務所主宰）
- 岩城 豊 氏（国土交通省 四国地方整備局 建政部長）



徳島大学教授 近藤光男氏



松山市長 中村時広氏



パネリストの皆様



## § 平成19年度調査研究報告会及び意見交換会開催

去る11月19日、アルカディア市ヶ谷にて調査研究報告会及び意見交換会を開催いたしました。調査研究報告会は機構の受託調査、自主研究、表彰活動の内容を会員の皆様にご報告することで、皆様のご理解・ご支援を賜る目的で毎年開催しているものです。

本年は機構の活動状況、平成18年度調査の全体概要報告、受託調査報告、自主研究報告、表彰活動について、各担当からご報告いたしました。

その後、意見交換会にうつり、講演では、国土交通省 都市・地域整備局まちづくり推進課 都市総合事業推進室長 望月明彦様に「まちづくりの最近の話題について」と題してまちづくり関連の平成20年度予算概算要求、都市計画制度の抜本見直し、地方再生戦略等についてのご講演を頂きました。

また、交流会では、国土交通省由木都市計画課長をはじめ、国土交通省幹部の方々にご出席いただき、会員の皆様との意見交換をさせていただきました。



望月室長

当日の報告項目は下記の通りとなっております。

機構の活動状況について

平成18年度調査の全体概要

個別調査研究報告

- ① 豊田市における中心市街地活性化の取り組み
- ② まちづくり交付金制度推進の取り組み
- ③ 平成18年度土地活用モデル大賞
- ④ 普天間飛行場跡地利用計画の策定に向けた行動計画
- ⑤ 千代田区の新たなエリアマネジメント構築
- ⑥ 品川新拠点研究会

専務理事

町田秀一

専務理事

佐々木健

企画調整部課長

中川伸治

開発調査部課長

船越英明

開発調査部課長

福知正高

開発調査部部長

稲岡英昭

企画調整部長

篠原康明

企画調整部長

篠原康明



町田専務理事



佐々木専務理事



中川伸治



船越英明



福知正高



稲岡英昭



篠原康明



## § 『MIPIM ASIA 2007 日本ブースを出展』 (MIPIM：不動産プロフェッショナル国際マーケット会議)

当機構は、国土交通省よりMIPIMにおける日本ブース出展・運営等の業務委託を受け、事務局として参加しました。

日本からは以下の16団体が参加し、通訳等の支援スタッフを含めて総勢70名程度でのブース運営となりました。毎年3月にカンヌで開催されるMIPIMへは日本として過去5回参加していますが、MIPIMアジアへの参加は今回が初となります。和のデザインや素材に配慮した日本ブースは、参加者に非常に好評で、カクテルパーティーやショートプレゼンテーションなどのイベント、日本コンファレンスも大盛況でした。



### (1) MIPIMアジアの概要

MIPIMアジアは、アジア太平洋地域の不動産に的を絞り、欧米をはじめ世界の各地域からの投資の促進を目指して開催されています。見本市の各ブースでは急成長中のアジア地域で開発されているプロジェクトが展示紹介され、同時開催の国際レベルのコンファレンス（セミナー）では、業界関係者の皆様にこの地域の不動産事情について他では得られない貴重な情報を提供するものです。

### (2) 日本ブース出展目的

都市開発に関連する国、自治体、民間企業等の関係者が一堂に会し、都市開発に関するPR、情報収集、パートナーシップの形成、不動産に関する商談、契約等を行う。

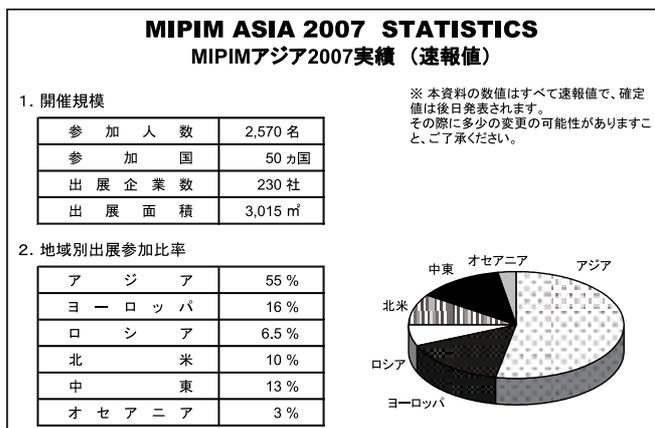
### (3) 開催期間・場所

2007年11月28日（水）～30日（金）（3日間）  
香港コンベンション&エキシビションセンター



### (4) 日本ブース出展参加団体

(株)サンケイビル、(株)日建設計、積水ハウス(株)、東急不動産(株)、東京建物(株)、三井不動産(株)、三菱地所(株)、森ビル(株)、(有)ニルマル プレーム コーポレーション、青山リアルティ・アドバイザーズ(株)、(独)都市再生機構、大阪市、福岡市、内閣官房地域活性化統合事務局、国土交通省、国際観光振興機構（別途、日本派遣団として25団体49名が参加）。



20年度は、恒例となってきた香港コンベンション&エキシビションセンターにおいて2008年11月19～21日にブース出展を、その前段として11月16～17日にコンファレンスなどを中心とした日本へのスペシャルツアーが目玉企画として初めて開催される予定です。



## § 機構の活動状況

日	11月	日	12月
2	コクヨ・寺田倉庫と意見交換（品川新拠点研究会関連：事務局対応）	5	JAPICと連携方策協議（品川新拠点研究会関連：事務局対応）
12	「普天間飛行場跡地利用計画策定推進調査」WG第3回会議	6	東京都と意見交換（品川新拠点研究会関連：事務局対応）
14~15	まちづくり交付金情報交流協議会秋季会議	10	プロジェクト説明会（東京ミッドタウン）
15	高輪プリンスホテルと意見交換（品川新拠点研究会関連：事務局対応）	20	品川新拠点研究会幹事会
16	不動産プロフェッショナル国際マーケット会議（MIPIM ASIA2007）日本ブース出展者全体会議、結団式	21	「普天間飛行場跡地利用計画策定推進調査」意見交換会（東京）
19	平成19年度調査研究報告会及び意見交換会	25~26	「普天間飛行場跡地利用計画策定推進調査」意見交換会（沖縄）
28	JTBと連携方策について協議（品川新拠点研究会関連：事務局対応）		
28~30	MIPIM ASIA2007（香港）日本ブース出展事務局として参加		
30	第3回 新潟駅周辺地区まちづくり意見交換会		

### 【機構関係諸団体】

#### 《インテリジェントシティ整備推進協議会》

1	宇都宮市訪問	25	ユビキタス・ユニバーサルまちづくり研究会・WG（第2回）
6	高崎市訪問		
21	ユビキタス・ユニバーサルまちづくり研究会・WG（第1回）		

#### 《地方の拠点まちづくり協議会》

		4	運営会議
		21	大洗研究会（第2回）

#### 《都市地下空間活用研究会》

13	地下利活用制度整備検討分科会第2回幹事（コアメンバー）会	3	地下利活用制度整備検討分科会岸井座長報告
14	八重洲・京橋・日本橋地区分科会幹事会	5	第2回地下利活用制度整備検討分科会
29	地下利活用制度整備検討分科会第3回幹事（コアメンバー）会	6	大阪分科会
		10	第5回八重洲・京橋・日本橋地区分科会黒川座長報告
		13	第5回八重洲・京橋・日本橋地区分科会

#### 《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

5	第19回技術研究発表会		
5~6	第14回交流展示会		



## § 会員紹介：三井不動産株式会社 ～東京ミッドタウンにおける都市緑化への取り組み～

「東京ミッドタウン」(事業主：全国共済農業協同組合連合会、明治安田生命保険相互会社、積水ハウス株式会社、富国生命保険相互会社、大同生命保険株式会社、三井不動産株式会社)は、広大な緑地を含むオープンスペースとともに、オフィス、商業施設、賃貸住宅、ホテル、デザイン関連施設、メディカルセンター、ホール&カンファレンスからなる複合開発です。「ダイバーシティ・オン・ザ・グリーン」、広大な緑地を活かした敷地に、都市が必要とするさまざまな機能、多様性を展開することをコンセプトに掲げ、複合機能の融合を図りました。

当プロジェクトでは、以下のような都市緑化への取り組みを行なっています。

### 1. 檜町公園と一体的に利用可能な整備

隣接する檜町公園と一体的に利用できるよう整備し、防災拠点としての設備を備えた約4haのまとまったオープンスペースを確保、これを核として青山から六本木を経て、赤坂方面に至る「緑の地域軸」を形成しています。檜町公園の再整備においては、港区主催のワークショップで出された地域住民の意向も反映されています。

### 2. 防衛庁時代の既存樹木約140本を移植

周辺の街並みと調和した景観形成を重視し、既存の地形を最大限尊重するとともに、防衛庁時代の既存樹木約140本を積極的に保全・活用し、土地の歴史性を継承しています。具体的には、高さ15m以上のクスノキを外苑東通りに移植し緑多い景観を創出、またサクラを地区内通路沿道に配置し、星条旗通りから連続する桜並木を形成しました。

### 3. 地域に開かれた憩いの空間を創出

オープンスペースを賑わいあふれる空間とするため、地域住民・来街者が青空の下で、くつろぎと憩いを楽しめる芝生広場やイベントスペースを整備しました。

### 4. 豊かな景観を演出

オープンスペースは、主に高木と低木・地被類で構成し、見通しのよい開放的な空間を確保しています。また芝生には洋芝を導入することで、一年を通して緑豊かな景観となるよう努めています。

### 5. ヒートアイランド現象の緩和

公園や緑地を整備し、一定のまとまった緑を確保したことで、蒸発散作用等により気温の上昇を抑え、ヒートアイランド現象を緩和しています。

当プロジェクトは、当機構主催の平成19年度土地活用モデル大賞における(財)都市みらい推進機構理事長賞を受賞するとともに、こうした都市の緑化を意識した開発が評価され、去る10月11日、財団法人都市緑化基金主催の平成19年度「緑の都市賞 国土交通大臣賞(緑の地域づくり部門)」を受賞いたしました。当社は、今後も「都市に豊かさ潤いを」というグループステートメントのもと、各プロジェクトへの取り組みを通じて、魅力ある街づくりを行い、社会の発展と豊かな暮らしの実現を目指して参ります。



©川澄建築写真事務所



©株式会社ミヤガワ



©株式会社ミヤガワ

### (財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区音羽2-2-2  
アベニュー音羽3階  
電話 03-5976-5860  
FAX 03-5976-5858  
Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧ください  
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・まちづくり交付金事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援 他